

教室の窓から 127 こんにちは

芝山小学校 < 3年2組担任 > **たけおか 竹岡** **はじめ 甫**先生

Q ▶ 子どもの頃の思い出

A ▶ 先生から叱られた思い出が多いです。よく育てられました。

Q ▶ 教員を目指したきっかけ

A ▶ 小学校時代の担任の先生の影響です。いつまでも記憶に残る先生になりたいと思います。

Q ▶ 児童たちの魅力

A ▶ 友達に優しくしたり、いけないことをした時には注意できたりする児童が多いこと。運動に対しても意欲的です。

Q ▶ 挑戦してみたいこと

A ▶ 修学旅行や宿泊体験の引率です。



- ☆イケメンで笑顔がすてき。
- ☆兵庫県出身みたいです。
- ☆一緒に遊んでくれたり、机を運ぶのを手伝ってくれたりします。
- ☆サッカーが上手！
- ☆歯磨きのときに変な顔をします。



好きな言葉

「笑う」

苦しい時でも、笑うことで物事がうまく進むと感じてきたからです。

教頭先生 EYE

竹岡先生は運動神経が抜群です。特にサッカーはとても上手です。出身は関西の方なので、イントネーションが聞きなれない時もありますが、私は「関西ではそう発音するのか」と興味を持って聞いています。年齢は若く、芝山小の中では1番若い2人の先生のうちの1人です。ですから、子どもたちにより近い立場での指導ができるものと期待しています。また、若さあふれるパワフルな行動にも期待をしています。関西の人はお笑いのセンスに優れていると聞きます。校内でもぜひその鍛えられた笑いのセンスを披露してもらいたいと思っています。



6月4日 大成会あじさいまつり



成田市にある障がい者施設のおまつりにお呼ばれしたよ。ほくのほかにもクウタンやうなりくんなど、たくさんのお友達が集まったんだよ。お客さんも大勢来てくれて、障がいのある人もない人も一緒におまつりを楽しんだッコ。



芝山の祭り

その四・浅間参り

富士山信仰

日本人が大好きな山、富士山。その雄大で美しい姿が、古来より多くの人に愛されてきました。また同時に私たちの先祖は富士山に神の存在を感じ、山そのものをご神体として祭りました。この神社を「浅間神社」といい、富士山頂やふもとの静岡・山梨両県にはいくつもの浅間神社が建っています。

江戸時代には富士山信仰がますます盛んになり、各地で浅間神社が勧請（かんしんじよう）（神仏の分身・分霊を他の地に移して祭ること）されました。千葉県にも数多く勧請され、その数は全国で最も多いともいわれています。

芝山の浅間神社

芝山町内では山中や坂志岡などの地区で浅間神社は祭られています。また、この神社は県内の広い地域で子どもの育成祈願

と結びついており、「浅間参り」と呼ばれる祭りを行っています。今回は山中地区の浅間参りを例にあげ、祭りの様子をご紹介します。

子どもの成長を祈る

山中地区の浅間参りは6月1日に行われます。当日、当番の人たちは朝5時半頃から子ども



お母さんとお婆ちゃんに抱かれる土井雄登くん・進志くん兄弟

富士山をご神体として祭る神社・浅間神社。この神社へ子どもの健やかな成長を祈り、お参りする習慣が芝山町内に残っています。

たちがお参りにくるのを待っています。今年一番初めに神社へやって来たのは、土井雄登くん（1歳）と進志くん（0歳）兄弟。2人は普段、芝山町に住んでいませんが、浅間参りのためにお父さんの実家へ里帰りしているそうです。さらに、弟の進志くんは生まれて初めての「お参り」「初山」とのことでした。

その後しばらくして来たのは、高校3年生になる戸井正樹くん。他の地区では、浅間参りは7歳までというところが多いようですが、山中では特に制限はありません。戸井くんは家に男が自分しかいなかったため、久しぶりにお参りに来たとのことでした。



久しぶりの浅間参りをした戸井正樹くん



昔の様子を懐かしそうに説明してくれた内藤康雄さん

少子化の影響で今年の浅間参りは3人でしたが、「昔は山中だけでなく、高谷や小池からもお参りにきた」と話してくれたのは内藤康雄さん。内藤さんの説明では、昔は午前中いっぱい宴会し、お供えの酒まで飲んでしまうこともあったそうです。しかし今では勤め人も多くなり、そのようなことはなくなりました。

それでも、地区の将来を担う子どもたちの成長を願うのは大切な事。土井くん兄弟のお母さんは「私は団地生まれなので、こういう習慣は経験したことがありません。ご近所が集まる良い機会だし、これからも続けていってほしいです」と話してくれました。

【参考文献】

千葉県の歴史 別編 民俗1

（総論）

芝山町史 民俗編